

リングリレートーク

緊張したこと、仰天したこと

ガリバー青少年旅行村のある場所は、最初、「旅行村」と呼ばれていました。この場所を再開発することになり、これを担当された高島町役場の澤さんがおいでになり、「旅行」といえば「ガリバー旅行記」の本が思い浮かんだというのです。その著者がアイルランド生まれの英国の作家であることから、高島町が、東京のアイルランド大使館と交渉し、現在のアイリッシュパークのガリバーホールが誕生しました。ホールの竣工式にはアイルランド大使夫妻が来られ、京都駅までの送迎と竣工式の通訳を担当し、とても緊張しました。

ある日、高島保育所の所長さんから、園児が作成したダイアナ妃のモザイク模様の貼り絵を、ダイアナ妃に贈りたいから英国王室へその旨を書いた手紙を書くように依頼されました。仰天しましたが子どもたちの思いを書き綴り、モザイクに添えて英国王室へ送りました。

その後、英国王室の侍従によるダイアナ妃の謝辞が届いたのです。そしてダイアナ妃ご夫妻が来日され、高島保育所の子どもたちが京都御所へ招待されダイアナ妃と面会できたのです。英国王室の誠実でこまやかな配慮に感動しました。



上田 藤市郎

➡ 次回は 澤 悦弘さん

高島地域 伝言板

大人とのしゃべり場
トークフォークダンス in 高中
《高島学園地域学校協働本部》

11月10日(月)高島中学校体育館で、9年生と地域の皆さんが、1対1で、フォークダンスのように次々と相手を変えながら、進行役が出すお題について、楽しくおしゃべりをしました。踊るわけではありませんが、心が躍る、そんな1時間だったようです。

高島中学校の生徒と
おしゃべりしました♪



みんなのコミュニティ まちあかり1月行事予定

《高島住民福祉ネットワーク[社協]主催》

- まちあかり健康づくり 10～11時半 6、13、20、27日 すべて(火)
 - カフェまちあかり 10～12時 8日(木)
 - まちあかり食堂 11～13時 17日(土)
 - ★ 20日は「ごちゃまぜカフェ(13～15時)」もあります♪
- 〔開催場所〕高島郵便局前



1月の予定表

1月	相談員
1 木	お休み
2 金	お休み
3 土	お休み
4 日	お休み
5 月	お休み
6 火	[社協]まちあかり健康づくり
7 水	★ 山田 善嗣
8 木	[社協]カフェまちあかり
9 金	★ 加藤 幸江
10 土	
11 日	★ 中村真奈美
12 月	お休み
13 火	[社協]まちあかり健康づくり
14 水	★ 清水 良恵
15 木	
16 金	★ 竹中 寛
17 土	[社協]まちあかり食堂
18 日	★ 西川 孝
19 月	お休み
20 火	[社協]まちあかり健康づくり ごちゃまぜカフェ
21 水	★ 仁賀 定夫
22 木	
23 金	★ 藪内 キヨ子
24 土	
25 日	★ 加藤 幸江
26 月	お休み
27 火	[社協]まちあかり健康づくり
28 水	★ 川島 清治
29 木	
30 金	★ 廣坂 吉憲
31 土	

お越しの際はお電話ください

【開館】火～日(月・祝休館)

【火～土 9～13時】
パソコン入力などのお手伝い
★【水・金・日 10～12時】相談日

サポートリングたかしま

高島地域住民自治協議会

高島公民館2F 図書室となり

☎ 090-2115-9055

〔9-13時 月・祝休館〕

📱 <https://srt.shiga.jp>

✉ takashima.juminzichikyou@gmail.com



《ウェブサイト》

区・自治会の困りごと、一緒に考えお手伝いします

サポートリング∞たかしま

高島地域住民自治協議会だより〈No.46〉

中面特集

新春企画 移住者に聞く

迎春

新年を迎えるにあたり、皆さまに心からのご挨拶を申し上げます。

近年、高島市には県内外から多くの方々が移り住み、新しい暮らしを始めておられます。豊かな自然に抱かれ、人の温もりを感じながら暮らせる高島は、いま改めて注目を集めています。私たちにとっては当たり前の日常風景である琵琶湖のきらめきや里山の四季の移ろいが、移住者の目にはかけがえのない魅力として映っているのです。

一方で、新しく高島で暮らし始めた人々は、地域の行事や生活習慣に戸惑うことも少なくありません。そのときに、そっと声をかけ、知恵を分かち合ってくださいなのが、長くこの地で暮らしてこられた皆さまです。移住者は

単なる「よそ者」ではなく、これからの高島を共に形づくる仲間です。互いに学び合い、支え合うことで、地域の絆はより強く、豊かになっていくと信じています。

人口減少や高齢化といった課題を抱える高島にとって、移住者の存在は大きな希望です。しかし、それ以上に大切なのは、旧来の住民の皆さまが持つ温かさ、地域を大切にしてきた誇りです。どうかその心を新しい仲間にも向けていただき、一緒に未来を描いていきましょう。

本年も、皆さまお一人おひとりが健やかで笑顔あふれる日々を送られることを祈念し、新年のご挨拶といたします。

高島地域住民自治協議会
会長 加藤 幸江



高島地域で活動する団体紹介

傾聴ボランティアグループ「ききて」

2010年に社会福祉協議会が傾聴ボランティア養成講座を開講。工藤伸夫先生(淀川キリスト教大学)から全6回の講義を受け、扇田宗親先生(龍谷大学)からの補講と、数回の実践体験を積んだ後、翌2011年に「ききて」グループを発足しました。

規約第1条に「お話相手を必要とされる方に寄り添って耳を傾け、その思いを受けとめ、支え合う地域社会の実現を目指す」と格調高くうたって活動を開始しました。依頼者選定は社会福祉協議会、ケアマネージャー、民生委員児童委員など専門職が行い「ききて」に照会してボランティア適任者を充てます。ボランティアは2人1組で依頼者宅を定期的に訪問し、1時間傾聴をするという流れです。守秘義務は言うまでもありません。

「ひたすら寄り添い耳を傾ける」傾聴は、自分をも磨いてくれます。依頼者がイキイキと回想される時は、まるで自分もその時代を生きている心地になります。

「話す」は「放す」に通じ、「心の開放」でもあります。1ヶ月に1回という頻度でも「待つ」行為が依頼者の心情をみるみる変えていきます。

年間延べ訪問回数は280回を数え、活動は15年目を迎えました。会員の入れ替わりはありますが、日々学びながら活動しています。興味があり傾聴活動したいと思われる方は社会福祉協議会にお問合せください。

文責 ききて代表 加藤幸江

ご参加お待ちしております!



高島地域を選んだ理由は？

真栄田さん



自然の中で生活し、自給自足的に自分たちが食べるものは出来るだけ自給したかったので、郊外の田舎を数カ所見てきた中、高島市は自然豊かなことはもちろん、発酵文化もあること、歴史も縄文から様々な時代の歴史や文化が豊かであること、何よりも琵琶湖が近く、大きなエネルギーを享受出来ることなど、高島を訪れた際にはここで探そうと一発で決めました。

坂本さん



自然豊かな環境で生活したいと思っていました。高島だけでなく、甲賀や大阪の地方、京都の亀岡、奈良なども検討しましたが、移住者への支援が手厚く感じた高島市に決めました。

福馬さん



以前は京都市内で会社員をしていたので、移住先には「京都に通える範囲＋予算内で買える中古の戸建＋自然に囲まれた静かな環境」の3つを条件にしていました。その中で高島市に決めた理由は、美しい水と田畑の風景。そしてきれいに草が刈られた管理の行き届いた景色です。移住先探しているいろいろな地域を見てましたが、草ボーボーで陰気な雰囲気のある場所もあり余計に神々しく見えました。

野澤さん



10年くらい前に友人に会いに初めて滋賀県を訪れました。その時に琵琶湖の景観に圧倒されたのをよく覚えています。友人が住んでいたのが高島市に住むことは決めていたのですが、最終的に空き家を友人が調達してくれてたのが勝野だったのと、風通しのいいとても気持ちのいいお家だったのでここに決めました。

石川さん



琵琶湖から望む景色に圧倒されたことと道の駅で購入したお米や野菜が美味しく感動したため。

移住してから驚いたことは？

野澤さん



子どもたちは「田んぼの広さ」や「すごい自然」が印象的だったようです。また、私はこども園の遠足で子どもが焚き火をしてきたことは驚きでした。東京ではなかなか許されない活動も、こちらでは大人の温かい見守りのもと、豊かな体験として子どもたちに提供されています。この多様な経験を尊重する教育環境と、地域の大人の深い理解に、高島市の魅力と都会との違いを感じています。

石川さん



ご近所さんがとっても優しく安心して過ごせることや高島市の皆さんがとってもグルメなこと。こんなに新鮮な食材、京都ではなかなか手に入りませんでした！

坂本さん



冬になると道路から水が噴き出していたり、横から水を遠慮なくかけられたりすることです。また、高低差による3℃近い気温差にも驚きました。川の水がとてもきれいで、毎日山の稜線を眺められることも驚きです。何よりも四季折々の自然の姿や田園風景が美しく、水と米がたいへん美味しいことに驚きました。

福馬さん

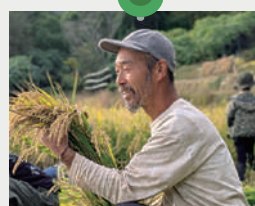


人混みもなく見れる満開の桜、夏でも冷たい川、冬の雪の量といった自然の風景。猿、きつね、たぬき、イタチなど庭に普通に現れる野生動物。ほかにも自治会や近所の方から教えてもらった草刈りの仕方、雪かきの仕方、屋根瓦の交換方法といった村での暮らし方まで。日々驚きの連続です。

新春企画

移住者に聞く

高島地域に近年移住された5人にお話を伺いました



真栄田 勇一さん

54歳／米農家・農家民宿運営／京都市西京区より音羽に移住



野澤 恵美さん

47歳／大溝の水辺景観まちづくり協議会スタッフ・フリーランス／東京都より勝野に移住



石川 哲央さん

41歳／飲食店経営／京都市山科区より鶴川に移住



坂本 旭さん

43歳／地方公務員／大阪市大正区より中溝に移住



福馬 俊太郎さん

39歳／フリーランスでの広告制作／京都市より黒谷に移住



事前にどんな調査をしましたか？

真栄田さん



まずは高島市役所の市民協働課に相談し、家族4人で伸び伸び生活出来て、畑も出来る場所を探してましたがなかなか決まらず、何度も高島の各所に足を運んでその都度、物件以外にも食材の豊さや、自然の残る場所を訪れて、高島に住み生活してる姿を強くイメージしていました。

石川さん



家（店）からの交通手段を調べたり朝から夕方までの景色を下見したりしました。

坂本さん



雪の量です。また、行政の移住者への支援についてです。土地の価格相場や古民家物件なども調査しました。

野澤さん



2022年に高島市とJR西日本で実施していた「お試し暮らし」という取り組みで夏休みの1ヶ月間家族で新旭に滞在しました。その時に友人の助けもあって市内で活動する方に会わせてもらったり、市のお誘いで移住のイベントに参加させてもらって先輩移住者の方と話す機会もいただきました。あとは子どもたちの教育のサポートが行政側でどれだけあるかなども窓口に行ってお聞きしたりもしました。

福馬さん



夫婦揃って行き当たりばったりな性格なので、特に調査はしていません。直感で決めました。妻が高島市に初めて来た日が物件購入を決めた日です。私は過去に1度だけ、畑の棚田と八ツ淵の滝に行ったことがあるくらいです。その時、駅から畑に向かうバスの中で見た風景や、歩いた地域の雰囲気を見て、こんなきれいな場所があるんだと思いました。まさか実際に住むことになるとはその時は思ってもいませんでした。

これからの高島地域に期待することは？

真栄田さん



この豊かな自然や景観、綺麗で豊富な水源、そこから琵琶湖に流れる水を汚さないよう、自然環境を壊さないように高島の土地を護っていきたいです。この高島の素晴らしい土地や素晴らしい人々との営みの自然環境を次世代に引き継ぎ残していきたいと願っています。

石川さん



高島市の最大の魅力である自然豊かな土地を守っていけるように行政や企業や住民みんなが働きかけてくれることに期待します。

坂本さん



地域一体となった学校教育の推進と、教育への予算配分をもっと豊富にし、質の高い教育の実現です。また、公教育の子どもたちが高齢者の方に関わることが出来る教育課程の編成です。最後に「ギョーザの王将」を出店して頂きたいです。

野澤さん



昨年春より総門に勤務し、よく地域の方と話します。みなさんの地域への深い愛着を感じるとともに、新参者の私たち家族を温かく迎えてくれて日々感謝しています。子どもたちも地域に見守られ、のびのびと成長できるこの環境は価値あることだと感じます。この地域の温かさや風通しの良さを感じた方が移住したり、訪れたりして、一緒に活動をするような流れを地域のみなさんと作りたいです。

福馬さん



この地域を選んだ理由でもある、きれいな水と田畑の風景がこの先もあることを願っています。そして昨年から告知チラシの制作をさせてもらっている高島地域のお祭り「輪っしょい！高島まつり」が毎年恒例になり、今よりもっと高島地域の交流が生まれることを期待しています。